



## 2023年 寒さの厳しい2月へ

2月に入りました。1月下旬は10年ぶりとなる大寒気が南下し、寒さが一段と厳しくなりました。太平洋側でも雪が降った地域もあり、寒さも当面続くような感じでした。2月も引き続き寒い日が続くかと思いますが、寒さ対策を十分に行って頂き、体調管理にはくれぐれもお気を付け頂けたらと思います。

寒さが厳しくなるにつれ、やはり体調に気を配りがちになってしまいます。体調管理には適度な運動やバランスの取れた食事が欠かせません。体調を十分に整えて、この厳しい冬を乗り切って行きましょう。我が家では毎年この時期は玉ねぎの栽培を行っています。我が家の畑は砂地の土壌で、丁度玉ねぎの栽培には適した土壌となっています。今年はここ数年と比べ大事に育てたおかげで、順調に育ってきております。玉ねぎは血液サラサラ効果を言われていて、これはアリシンという成分が血行を促進し血液が固まり易くするのを防いでくれ、血栓の予防が期待できると言われております。またこのアリシンはビタミンB1と結びついて働きを持続させる効果がある事から、疲労回復効果も期待できるとの事です。我が家の玉ねぎは4月か5月の収穫時期ですが、浜松市南部の海岸に面した砂地で栽培される新玉ねぎは、先月から出荷が始まっております。辛みが少なく生で食べる事もできるので、料理にうまく玉ねぎを取り入れることも良いのではと思います。寒さが厳しい時は暖かい玉ねぎのスープも良いと思いますので、体調には十分気を付けてこの季節を乗り切って頂けたらと思います。

それでは今月1ヶ月間どうぞよろしくお願ひします。



社長 太田 聡  
編集担当：島

## ハラスメントについて（第7回） 【ハラスメントを起こさないために】

前々回より妊娠・出産等に関するハラスメントを取り上げていますが、今回はハラスメントを起こさないためにどうするか考えてみます。

※「職場でのハラスメントの防止に向けて」（厚生労働省）をもとに作成

【職場における妊娠・出産等に関するハラスメントを未然に防止するための取り組み】

- ・妊娠から産休、育休、復職後までの流れや、利用可能な制度等を理解する。
- ・妊娠した従業員や育児休業等の制度を利用する従業員は周囲とのコミュニケーションを心掛け、自身の体調等に応じて適切に業務を行うという意識を持つ。
- ・妊娠中、育児中の制度を利用しながら働いている従業員に対しては、業務の状況と共に、周囲とのコミュニケーションに関しても目配りする。
- ・特定の人に向けた言動でなくても、妊娠、出産や育児休業、介護休業制度の利用について否定的な発言をすることは、ハラスメントの発生の原因や背景になるので注意する。
- ・「子どもが小さいうちは家にいた方がいい」など、自分の価値観を押し付けない。
- ・自分の行為がハラスメントになっていないか注意する。
- ・周囲のメンバーに隠れたハラスメント行為がないか注意する。



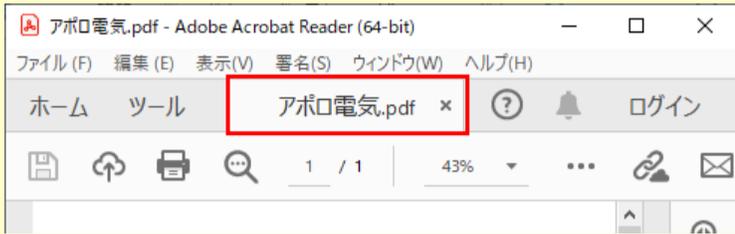
## PDFのタイトルとファイル名が異なる??

今回は、ワードやエクセルからPDFに変換する際の注意点として、PDFのタイトルについて紹介したいと思います。皆さん、こんな経験はありませんか。

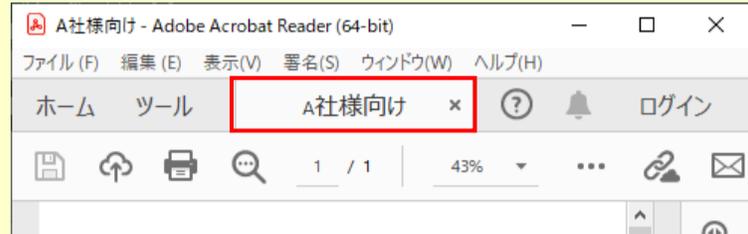
「PDFを開いた時に、タブに変な名前（ファイル名と異なる）が表示されるんだけど・・・」

「PDFのファイル名を変えているのに、以前のファイル名がタブに表示されて更新されない！」

言葉としては違いますが、PDFファイルを Adobe Acrobat Reader や Chrome などのブラウザなどで開いた際に、タブにはファイル名が表示されると思っているが、意図しない文字が表示されるため困っているという内容となります。



▲ファイル名とタイトルが一致（正常）

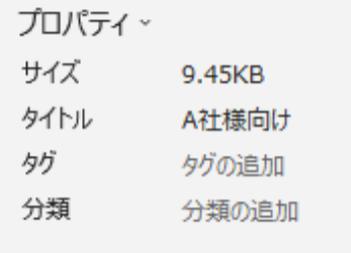


▲ファイル名とタイトルが異なる

なぜこのようなことが起こるのかというと、ワードやエクセルにはタイトルや作成者といった情報が含まれています。これらの情報は「ファイル」→「情報」タブを選択すると確認することができます。



▲エクセルファイルの情報



▲プロパティ情報

自分で作成したファイルを自分自身のみで利用するのであれば良いのですが、他の方、特に顧客に配布したり共有したりする場合にはプロパティ情報には注意が必要です。既存のフォーマット資料を複製し、一部編集しながらPDFに変換する際などは、いつ保持したかわからないタイトル情報が引き継がれていくことで「タブに古いファイル名が表示される」とか「変な名前が表示される」という現象を引き起こしてしまっていることがあります。不要なタイトルについては、プロパティ情報を削除することでファイル名とタイトルが一致することになります。PDFを作成した際は、必ずタイトルを再確認するように注意しましょう。

編集担当: 島

## 「はははのはなし」から学ぶ ～加古 里子(かこ さとし)～

先月号で、かこさとし氏は多くの科学絵本を製作していたということをお伝えしました。その中でも、“歯”を取り上げた作品がいくつかあります。「はははのはなし」「むしばミュータンスのぼうけん」「むしばちゃんのなかよしだあれ」「ぼくのハはもうおとな」「むしばになったどうしよう」などの絵本です。

最初の絵本「はははのはなし」が製作されたのは1970年、今から50年以上前です。この頃、虫歯は子供たちの大問題だったことから、かこさとし氏は、歯を取り上げたこれらの本を製作しました。

「はははのはなし」は歯がなぜ必要か、なぜ虫歯になるのか、そして歯磨きの大切さ、でもそれだけじゃないということが順を追って子供たちにもわかりやすく描かれています。わかりやすさの理由は、子供が「じゃあ、歯がなければいいじゃん」「はみがきしてるよ」というような反応をしそうなタイミングで、“そう思いませんか？”という投げかけをし、でもそれだとうなるよと説明をする構成になっているからではないかと思えます。私達も仕事などで相手に説明をする時は、相手が疑問に思うこと、欲しいと思うタイミングで情報を提供することが大切だと再認識しました。

また、この本は難しいことをわかりやすく伝える為に、ユーモアも交えた作品になっています。

本の始まりでは「ははははは」とみんな笑っています」という笑い声の“は”と“歯”をかけた、最後は、歯の数を“ははははは”とたくさん並べて大人と子供の歯の数を説明したりしています。確かに「子供の歯は20本あります」と単に説明するだけよりも、“は”の文字数を子供が自ら数えて、それを読んでいる親などの大人とコミュニケーションしながらのほうが数字も記憶に残りやすいと思います。仕事をする上でも、相手が理解しやすい伝え方やしくみを考えることが大切だと感じました。

しかし、かこさとし氏の本がわかりやすいのは、伝え方だけではないと思います。先月号でも紹介しましたが、最新の研究動向について専門家に意見を聞いたり、細かいデータを徹底的に調べて製作されているからだと思います。徹底的に調べ、自分自身が正しく深い知識を得ていなければ、わかりやすく伝えることはできません。

知識と伝え方の両方を備えた、かこさとし氏の偉大さを実感すると共に、私達も自分の担当する仕事やその周辺知識を深め続け、相手を思い伝えなければということ、この作品を通じて学びました。

編集担当: 伊藤

## 編集担当より

昨年末に一旦終了した全国旅行支援ですが、割引率等の見直しを行った上で、本年1月10日より再開しています。同事業は、国が予算を都道府県に配分して実施しているもので、都道府県ごとに予算が無くなり次第終了となります。

基本的には3月末までの実施予定となっておりますが、1月25日の党観光立国調査会で観光庁は、予算の残余状況について、本年3月末までは全国で事業を実施でき、4月以降もほとんどの都道府県で継続できる見通しであると説明しました。

実施状況の詳細については、各都道府県の窓口へお問い合わせください。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。  
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004  
静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地  
TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898  
URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当: 管理室

発行日: 令和5年2月1日